



## 【千葉県】千葉大学医学部附属病院

当院は千葉県千葉市にあり、都内へのアクセスも良く、少し歩けばターミナル駅や繁華街という絶好の立地にあります。外来棟、中央診療棟、医学部棟の建て替えも終わり、今では複数のドラマのロケ現場としても使われています。

### 千葉大学泌尿器科学教室について

2004年より市川智彦教授が第4代教授として就任され教室を率いています。千葉市近郊には千葉大学泌尿器科の関連施設が複数あり、各病院の特色がいかされるように診療をすすめています。千葉大学病院泌尿器科では、泌尿器科癌（前立腺癌、腎癌、膀胱癌、精巣癌）、男性不妊症、尿路結石症が診療の大きな柱となっています。すべての内科やICUの設備があるため合併症のある症例や、救命センターもあり3次救急も積極的に受け入れています。そのため今では減少傾向にある開腹手術や、他科と共同で高難度の手術をすることもしばしばあります。千葉県の泌尿器科診療の最後の砦としての責務を全うしていく次第です。

先駆的な臨床・基礎研究としては、坂本信一診療准教授を筆頭に学内・学外と連携し前立腺癌、尿路結石症を中心とした基礎的研究をすすめ、創薬にも積極的に取り組んでいます。また近年注目を集めているAI研究や、外科分野の発展には必須である医工学分野においても共同研究をすすめています。現在大学院生には、当教室ならびに、前述の研究室に配属してもらい積極的に研究活動をすすめてもらっています。多くの学会発表や論文発表を毎年しています。今後もひきつづき興味をもった泌尿器科医師に大学院に入学していただき、複数の選択肢のなかから自分にあった研究を選択し研究に従事していただきます。

臨床面にも力をいれています。手術は経尿道的手術、腹腔鏡手術、ロボット支援手術が多いです。泌尿器腹腔鏡技術認定医も10名、ロボット手術プロクター3名が在籍しており、豊富な症例数と充実した教育サポートができます。毎年1~2名は腹腔鏡技術認定医に合格しています。手術支援ロボットであるダヴィンチXiシステムが導入されており、前立腺全摘除術、腎部分切除術、膀胱全摘除術、腎盂形成術をコンスタントに施行しており、週2列の手術枠では足りない状況になっています。今後もロボット手術を期待され紹介いただくことが多くなることが予測されます。市川教授、小宮顕診療教授の専門である男性不妊症手術・診療も積極的に行っており、生殖医療専門医の育成もしています。また市川教授は遺伝子診療部の部長も兼任しており、一部の泌尿器科スタッフも兼任で従事し臨床遺伝専門医の取得を目指しております。

### 臨床研修プログラムについて

千葉大学泌尿器科専門研修プログラムは、千葉大学病院を基幹病院とし、県内・県外の施設から構成されています。最近では毎年10名程度の先生が当プログラムを専攻しています。毎年多く

の仲間ができ盛り上がりが増しています。プログラムは4年の研修期間のうち1年間を千葉大学泌尿器科で研修することを原則としています。残りの期間を基幹・連携施設で研修してもらいます。それぞれの研修施設が得意分野をもち、最近では専攻医期間中にロボット支援前立腺全摘除術を多数経験する先生や、腹腔鏡手術や尿路結石手術を多数経験する先生、前立腺肥大症の手術を多数経験する先生がいます。連携施設も大規模な病院であり3次救急を受けいれている施設も多く救急疾患の対応や全身管理が得意になる先生も多数おり、千葉大学泌尿器科専攻医のなかで切磋琢磨しています。学会発表なども積極的に参加や発表をしていただいています。

### 千葉大学泌尿器科専門研修プログラム基幹・連携施設

帝京大学ちば総合医療センター／東邦大学医療センター佐倉病院／国立病院機構千葉医療センター／千葉県がんセンター／千葉県こども病院／松戸市立総合医療センター／船橋市立医療センター／千葉市立青葉病院／国保旭中央病院／船橋中央病院／東京新宿メディカルセンター／成田赤十字病院／千葉ろうさい病院／横浜労災病院／済生会宇都宮病院／千葉県済生会習志野病院／みはま病院／君津中央病院／井上記念病院

詳しくは千葉大学泌尿器科HPを最近リニューアルしましたので「入局・研修をご希望の方」をはじめ逐一最新の情報を更新しておりますのでご確認いただけると幸いです。(https://www.m.chiba-u.ac.jp/class/urology/) 千葉大学泌尿器科は、今後のキャリア選択のうえで多くの選択肢を持っていることが強みです。ぜひ私たちと一緒に千葉で泌尿器科医をはじめましょう。

### 連絡先

泌尿器科医局 TEL: 043-226-2134 / FAX: 043-226-2136

Mail: urohisho@chiba-u.jp

